

着ぐるみ使用上の注意

(1) 着脱するとき

- ア 着脱の際、着ぐるみを汚損しないよう細心の注意をもって取り扱うこと。
- イ 着ぐるみ胴体部の素材は、汗を吸いやすく洗えない素材のため、直接肌が触れない服装（長袖のTシャツ、薄生地のスエットパンツ、綿の靴下）を心がけること。
- ウ 関係者以外（特に子ども）の前で絶対に着脱しないこと。

(2) 活動するとき

- ア 着ぐるみを汚損しないよう細心の注意をもって取り扱うこと。
- イ 雨雪の下では原則として使用を控えること。なお、使用中に雨雪となった場合は、速やかに使用を中止すること。
- ウ 足下の視界が悪いため、活動の際は、安全対策として必ず誘導係を付けること。また、小さい幼児等にぶつかったり、倒したりするおそれがあるので、急に振り向いたり、急に走り出すことは避け、転倒にも十分注意すること。
- エ 足を引きずって歩くと、破損する原因となるので、歩く時は、必ず足を持ち上げて歩くこと。
- オ 着ぐるみ内部に熱がこもり、長時間着用すると気分が悪くなることがあるので、適宜休憩や水分補給を行うなど十分な暑さ対策をとり、無理のない着用をすること。
- カ 着ぐるみ着用時は絶対に声を出さないこと。ジェスチャー以外でわかばんから何らかのメッセージを伝える必要がある場合は、誘導係や司会者等が代弁すること。
- キ タスキは必ず着用すること。

(3) 使用後

- ア 汚損箇所がないか必ず確認すること。
- イ 消臭スプレーで消臭し、風通しの良い場所で、頭部、胴体部、足部とも十分乾燥させてから返却すること。
- ウ 汚損または部品を紛失した場合、直ちに貸出機関に申し出ること。

(4) その他

- ア 輸送や保管の際には、専用の収納袋に収め、型くずれしないよう、取り扱いに十分留意すること。
- イ 頭部を持つ際は絶対に耳だけで持たないこと。